

A グループの発表に関する質疑応答

A の文献：

森岡孝二『就職とは何か <まともな働き方>の条件』岩波新書、2011 年

B から：ワークシェアをすると、若者の採用が減ってしまうのではないか。

回答→この本に記載されているワークシェアとは、サービス残業解消型のワークシェアリングのことであり、あくまでも過重労働を解消するためのものである。

B から：実際にワークシェアをするときに分け方や枠組みはどうするのか。それを法律で決めるのか、企業努力で決めるのか。

回答→この本には詳しくは書かれていない。

C から：ワークシェアを実現するには、実際に企業や政府が何をすべきか。

回答→この本には詳しくは書かれていないが、当時の民主党政権が鳩山内閣の下で出した「新成長戦略」には、環境・エネルギー分野の新規雇用創出より、サービス残業解消型のワークシェアリングの雇用創出効果のほうが大きいと記載されている。

D から：日本にはアメリカに比べて、長期のインターンシップが少ないのはなぜか。

回答→日本では、就職活動の早期化の影響を受け、企業が求める人材の選考の場となってしまう、学生のための就業体験のことを考慮に入っていないから。

以上